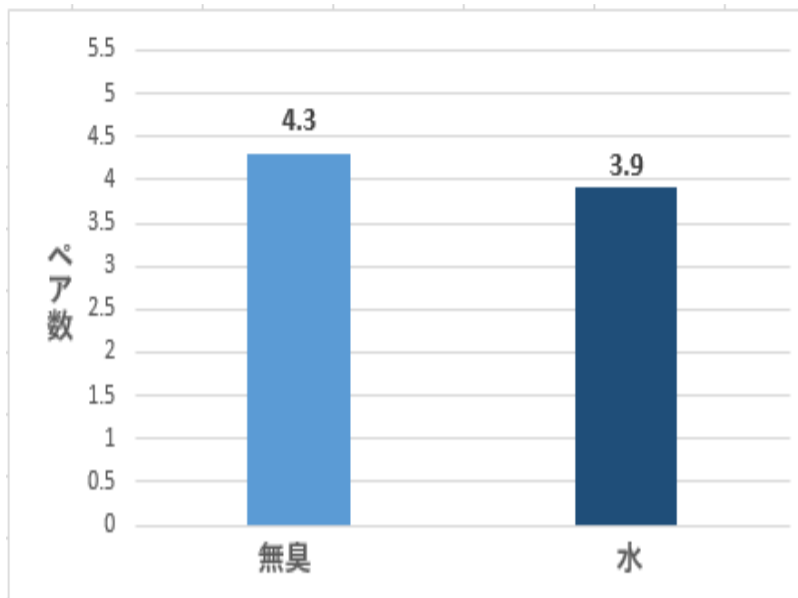


実験①結果

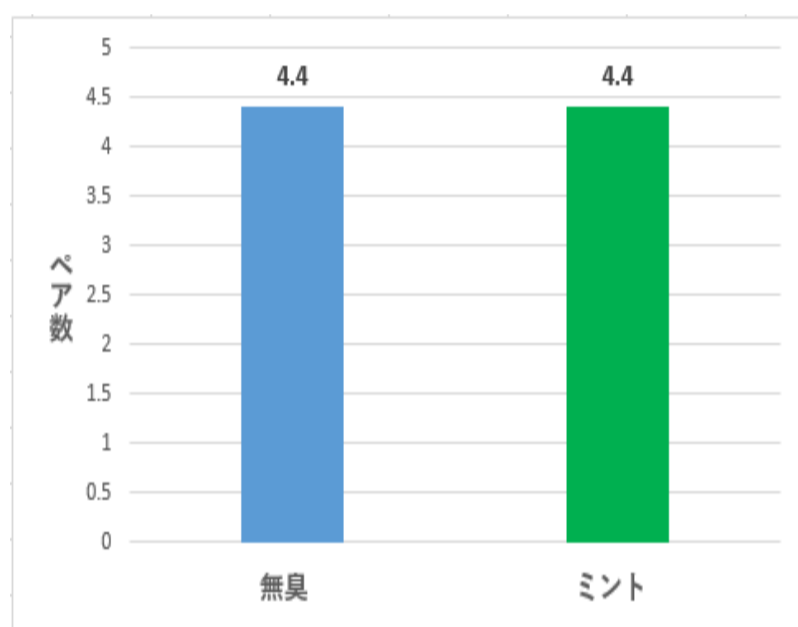


水 被験者数47名

1回目匂いなし：平均ペア数4.3ペア

2回目 水：平均ペア数3.9ペア

考察：匂いを嗅ぐという行為に集中した事により記憶をしようとする集中力が散漫してしまいペア数が落ちたと考えた。

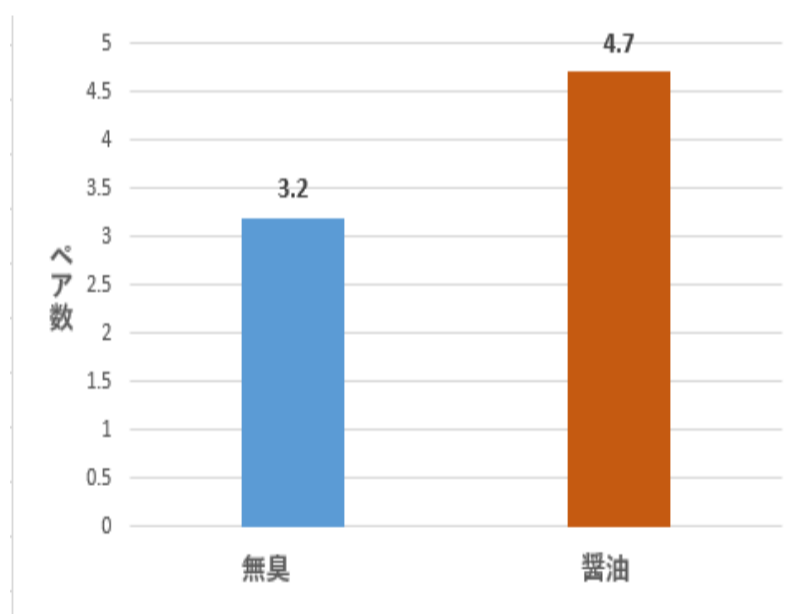


ミント 被験者数47名

1回目匂いなし：平均ペア数4.4ペア

2回目 ミント：平均ペア数4.4ペア

考察：ミントの匂いを嗅ぐと記憶力が向上する事が英国ノーサンブリア大学での先行研究(クイズや単語探しパズルなど)で分かっている。しかし、今回の実験では匂いを嗅いでからの時間が短かった為ミントの効果が顕著には出なかったと考えた。

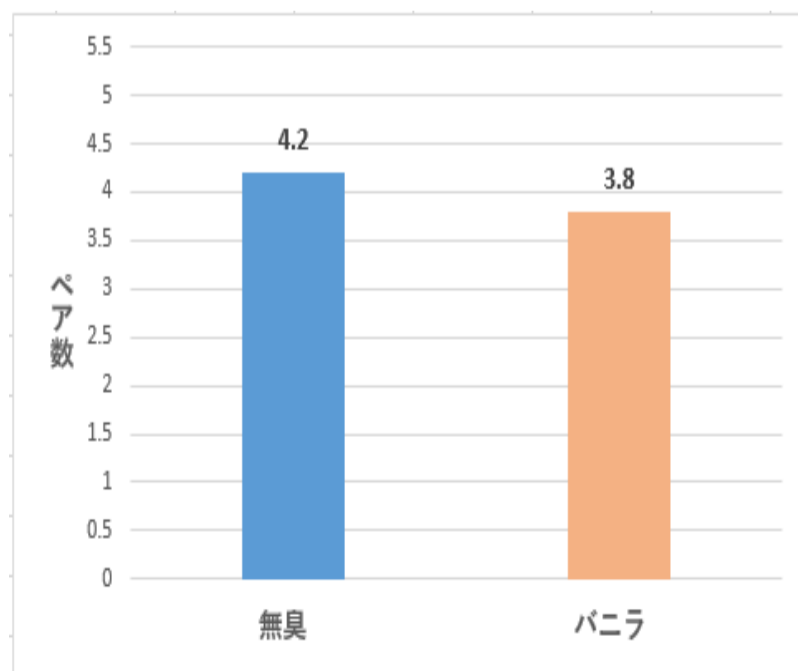


醤油 被験者数47名

1回目匂いなし：平均ペア数3.2ペア

2回目 醤油：平均ペア数4.7ペア

考察：人間は空腹になると記憶力が向上しやすい事が東京都医学総合研究所の先行研究から分かっている。その為、実験を昼時にした事により醤油の匂いから空腹を自覚し、多くの被験者のペア数が上がったと考えた。



バニラ 被験者数47名

1回目匂いなし：平均ペア数4.2ペア

2回目 バニラ：平均ペア数3.8ペア

考察：アメリカのロイター通信によってリラックスをし、脳を最適化すると記憶力が向上するとわかっている。匂いを嗅いだ事によりバニラのリラックス効果が影響したものの、脳が最適化されず短期記憶に必要な集中力が削がれたと考えた。